

栃木県 i-Construction 推進県部会

設立趣意書

我が国は、2010 年の 1 億 2806 万人をピークに人口減少が始まり、しかも極めて速いスピードで高齢化も進みつつあります。特に、建設産業においては建設現場の技能労働者の 1/3 にあたる約 110 万人が、今後 10 年間で高齢化により離職する可能性が高いと想定されています。さらに、離職者の増加に加えて若年入職者の減少など、建設業の担い手の確保が課題なっています。

一方、バブル崩壊後、建設投資が減少し、ほぼ一貫して労働力過剰となり、省力化につながる建設現場の生産性向上が見送られてきたため、生産性の向上も喫緊の課題なっています。

このような状況を踏まえ、国は、建設現場における生産性向上や魅力ある建設現場を目指す i-Construction の取り組みを進めています。また、国土交通省関東地方整備局においても、「関東 i-Construction 推進協議会」を設立し、i-Construction の推進や情報共有などを図っています。

そこで、本県においても、i-Construction の趣旨に則り、栃木県及び県内の関係各産業界を構成員とし、より実務者に近いレベルでの情報交換等のため、「栃木県 i-Construction 推進県部会」を設立するものである。

平成29年2月